

第8号

発行日
2020. 11. 9

Super Highway

JR東労組バス関東本部



JR東労組ホームページ

バス関申
第2号

2020年度年末手当等に関する申し入れ

第1回交渉(趣旨説明)を行いました! ~①~

- ・新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立たない中で不安を未だに抱えながらも、社会インフラとしての使命を全うすべく安全・安定輸送を提供している。
- ・変化への対応に対する組合員・社員の努力や、労働の質を高めるためにも人への投資が必要だ。
- ・社会の変化と決算の現実を認識し、安全を最大の価値基軸に捉え経営基盤の構築をめざす施策を理解する努力を惜しまない。しかし、当然「安全・健康・ゆとり」が損なわれる事象に対しては労使議論を通して解決していくスタンスは変わらない。
- ・人材の流失を防ぐ点からも今こそ「人」への積極的投資が必須だ!
- ・赤字・コロナ禍においても雇用の確保を前提とし、安定した生活を維持する為に2020年度期末手当等を要求する!

組合員・社員のモチベーションを維持・向上させる観点からも、満額回答を強く求める!

バス関東本部に
寄せられた
組合員の声

「家族への感染の不安も抱えながら、感染防止に努め職務を全うしている」「車両系の業務も拡大している中においても、安全・安心の車両提供に努めている」「業績が好調の時も先行きが不透明と支給が抑えられてきた」「月収が激減し生活が厳しい。経営状況も分かるが、家族も含めた生活がある」「転職してる社員や転職を考えている社員がいる」など

会社の期末手当に対する考え方

- ・第2四半期決算は予想されていたが、かなり厳しい決算を迎えた。営業収益は29億円の赤字。今まで当社でも経験したことのない赤字決算であった。
- ・29億円の赤字は年度末通期を考えても、改善する見通しはない。
- ・2月の学校休校、4月の緊急事態宣言、夏輸送、新型コロナウイルスの諸対応、お客さま対応、自身と家族への感染防止等、最大限の努力をしていただいたことに感謝を申し上げます。
- ・GoToトラベルの影響もあり、回復の兆しが出てきている。上期は高速線は対前年2割、一般線はかなり回復しているが5割弱の状況。
- ・ボーナスを出すことすら難しいこともあり得た中で、交渉に臨ませていただく。ゼロ回答ではないということ踏まえた上で真摯な協議をさせていただく。

~②へ続く~